

学校法人 秀明学園

次世代育成支援対策推進法 行動計画

秀明学園では、教職員が男女の差がなく能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り、働きやすい雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定しました。

1. 計画期間 2020年4月1日～2025年3月31日

2. 本学園の課題

- (1) 育児休暇を取得し復職する女性教職員は多いが、子供を優先せざる負えない事に他の職員への後ろめたさを感じているなど、育児との両立に不安を抱えている職員が多くいる。
- (2) 女性教職員と比べて男性教職員は勤務時間が長い傾向がある。

3. 目標と取組内容(実施時期)

目標1:教職員に次世代育成支援対策推進法について周知し理解を深める

- ・次世代育成支援対策推進法について、教職員へのチラシ配布や研修会を開催するなど法令の目的を周知徹底するとともに、内容の理解を深める。

目標2:長時間労働の職場風土を改善させる

- ・長時間労働の防止のため、教職員が定時に退勤できる職場風土を確立し、勤務時間管理を適切に行う。

策定年月日 2020年3月31日

学校法人 秀明学園

女性活躍推進法 行動計画

秀明学園では、女性教職員がその能力を発揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい 雇用環境の整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1, 計画期間 2020年4月1日～2025年3月31日

2, 本学園の課題

- (1) 教職員全体のうち女性教職員は約38%在籍しており、十分活躍しているが女性管理職の割合が低い。
- (2) 特に女性教員は、教育という特性上、生徒・学生対応や部活動・進路指導等により休暇をとりにくい。

3, 目標と取組内容(実施時期)

目標1: 女性管理職の割合を2割増やす

- ・男女関係なく管理職が定時で退勤しやすい職場風土に向け勤務時間管理を行う。
- ・現女性管理職員や活躍している女性教職員をロールモデルとして紹介する。

目標2: 有給休暇取得率を2割増やす

- ・業務削減の取組を図り、その成功例を共有する。

策定年月日 2020年3月31日

学校法人秀明学園 女性活躍に関する公開データ

1・教職員の男女の比率 約4：6（女性38.2% 男性61.8%）

（内訳）

区分	女性	男性
本務教員	88名	196名
本務職員	26名	36名
兼務教員	67名	96名
兼務職員	44名	36名
合計	225名	364名

2・男女の賃金の差異 75.4%（男性の賃金に対する女性の賃金の割合）

（内訳）

区分	男女の賃金の差異
本務教員	85.9%
本務職員	78.8%
兼務教員	125.1%
兼務職員	112.6%

3・男女別の育児休業取得率 女性 約0.9% 男性 約0.55%

区分	在籍者数	育児休業取得者
全女性教職員	225名	2名
全男性教職員	364名	2名

注釈・説明

対象期間：男女の比率・賃金の差異 令和4年度（2022年4月1日～2023年3月31日）

育児休暇取得率 令和5年度（2023年4月1日～2024年4月31日）

賃金：通勤手当、退職手当を除く